徳川慶喜
【とくがわよしのぶ】

(1837-1913)

江戸幕府第一五代、最後の将軍（1866-1867）。水戸藩主斉昭の七男。幼名七郎麿・昭致。1847 年一橋家を継ぐ。62 年将軍家茂の後見職として公武合体策を推進。将軍となってのち、フランスの援助を受けて幕政改革をはかったが、挽回はならず大政を奉還し、江戸開城後は水戸で謹慎し、徳川宗家の家督を田安亀之助（徳川家達）に譲り駿府に移った。のち公爵。

- 幕末辞典 -